

HITACHI

多機能電話機

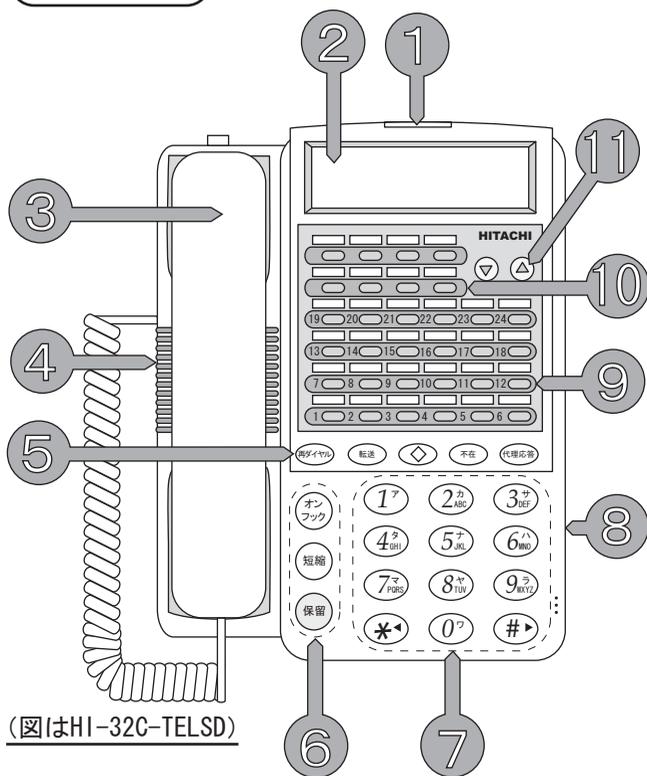
HI・C・TEL

簡易

取扱説明書

- ・この電話機は、日立のCX8000、HXおよびMXの交換機および主装置に接続できます。ただし、各主装置で取扱が一部異なりますので文中にCX、HX、MXの区別表示をしています。
- ・この説明書は基本操作を記載しています。詳しくは各主装置に添付の「取扱説明書」をごらんください。

各部の名称



(図はHI-32C-TELSD)

このたびは、HI・C・TELをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

- ・ご使用前に、この「簡易取扱説明書」と、CX、HXまたはMXに添付の「取扱説明書」を合わせてお読みになり、正しくお使いください。
- ・お読みになった後も、いつでも見られる場所に置いてください。

- ① 着信ランプ
- ② 表示器
- ③ 受話器
- ④ スピーカ
- ⑤ 機能ボタン (5個)
- ⑥ 機能ボタン (3個)
- ⑦ ダイヤルボタン
- ⑧ 携帯端末接続用コネクタ
- ⑨ フリーファンクションボタン
- ⑩ ワンタッチボタン
(HI-32C-TEL []のみ)
- ⑪ 音量調節ボタン

付属品

HI-「」C-TEL「」全て共通

- ・受話器 (1個)
- ・カールコード (1本)
- ・回線コード: 4芯 (1本)
ただし TELPF1 は 6芯
- ・簡易取扱説明書 (1冊)
- ・キーパネル示名紙 (1枚)

<以下は独自の付属品です>

- HI-24C-TELPF
・マイクラベル (1枚)
- HI-24C-TELPF1
・マイクラベル (1枚)
・6芯-8芯変換ケーブル (1本)
- HI-24C-TELHF
・マイクラベル (1枚)
- HI-24C-TELOA
・モデムラベル (1枚)

ご使用の前に(絵表示について)

この使用説明書では、製品を安全に正しくお使いいただきあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物理的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意(警告も含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は「感電注意」です。)



⊘記号は禁止の行為であることをつけるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は「分解禁止」です。)



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(左図、上の場合は「電源プラグをコンセントから抜け」、下の場合は「必ず実施」です。)

- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置には、工事担任者資格を必要とする場合があります。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 取扱説明書をお読みになったあとも、いつでも見られる場所に置いてお使いください。

安全のために必ずおまもりください。

ご使用にあたっては、次の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

■異常時の処置について



警告



万一、内部に水などが入った場合は、回線のモジュラージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。すぐに回線のモジュラージャックをはずし、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一、内部に異物が入った場合は、回線のモジュラージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、電話機を落としたり、ケースを破損した場合は、回線のモジュラージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

■取扱いについて



警告



電話機に水などが入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。



電話機の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



すきま等から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



電話機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



ぬれた手で電話機を操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



回線コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると回線コードが破損し火災・感電の原因となります。



注意



電話機の通風口をふさがしないでください。通風口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。



移動させる場合は、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



壁掛け式で使用時は落下に注意してください。けがの原因となることがあります。



回線コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

安全のために必ずおまもりください。(つづき)

■ 設置場所について



注意



直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所におかないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。



振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



壁掛け用として取り付ける場合は電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付け・設置してください。けがの原因となることがあります。



テレビ、ラジオ、アンプ、スピーカボックスなど磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。また、テレビ局や、ラジオ局などの近くやノイズを発生する大型溶接機器等の近くに設置しないでください。正常に動作しないことがあります。



製氷倉庫の中など、特に温度が下がるところに置かないでください。正常に動作しないことがあります。

■ お手入れについて



警告



静電気集塵型科学ぞうきは絶対に使わないでください。火災・故障の原因となります。



アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。



汚れがひどいときはうすい中性洗剤をつけた布をかたくしぼって拭き、その後かわいた布でもう一度、からぶきしてください。洗剤や水をスプレーなどで直接かけるようなことはしないでください。

お買い上げいただいた交換機がCX、HX、MXのいずれか確認してください。

文中には交換機の区別表示をしています。その意味は次の通りです。

CX HX MX

: CX, HXとMX共用

CX HX

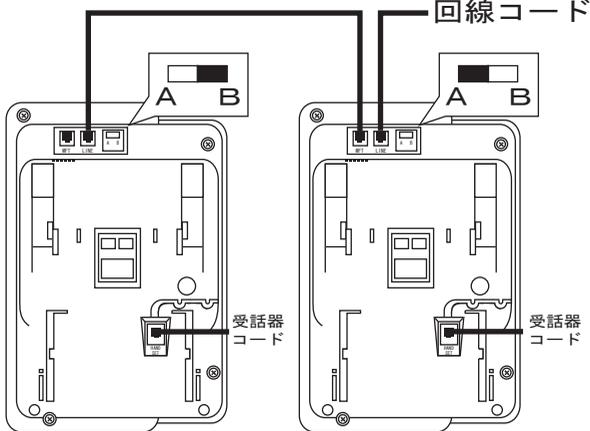
MX

: CX, HXとMXそれぞれ独自

また、文中に表示されているLCDの画面はCX、HXの画面を示しています。MXはCX、HXと若干異なります。(例: MXは待機状態の時、内線番号のみ表示されます。)

電話機のマルチ接続が出来ます

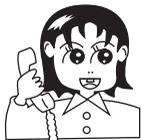
マルチ接続(1回線に2台接続)の取付けは販売店が行います。このとき電話機の底面A/B切替スイッチはお互い逆に設定してありますので、これを変えないでください。2台とも機能しなくなります。



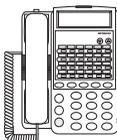
警告

電話機裏面の接続コードは販売店が取付けますので、絶対に接続位置を変えないでください。誤って受話器コードをMF TまたはLINEに接続すると回線の電圧が受話器に加わり火災・感電・故障の原因となります。

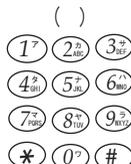
この説明書中の絵表示の意味は次のとおりです



受話器をあげる



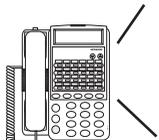
受話器をもどす



() 内の番号をダイヤルする



オンフックボタンを押す



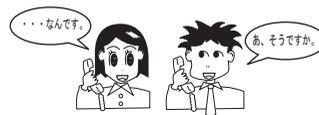
スピーカから聞こえる



ランプが点灯または点滅する



() 内の番号をダイヤルする
フリーファンクションボタンを押す

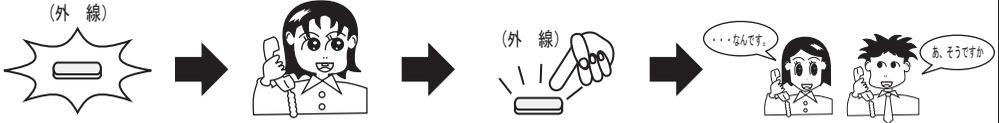


相手と通話

CX HX MX

外線からかかってきたとき

外線着信



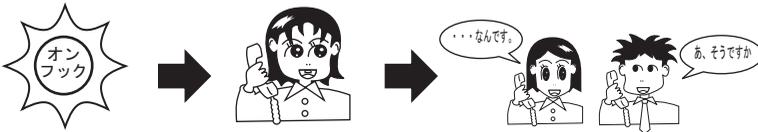
・着信音が鳴り、ランプが赤の速い点滅 (※)

(※) 外線ランプが緑の速い点滅の場合は、外線ボタンを押さなくても受話器を上げるだけで通話できます。

CX HX MX

内線からかかってきたとき

内線着信



・着信音が鳴り、ランプが赤の速い点滅

CX HX MX

近くの電話が鳴っているとき

代理応答



・ランプが速い点滅

CX HX MX

通話中の相手を他の内線に転送するとき

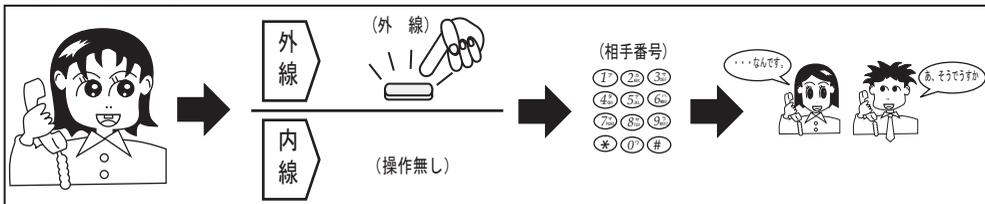
転送



CX HX MX

受話器を上げてかけるとき

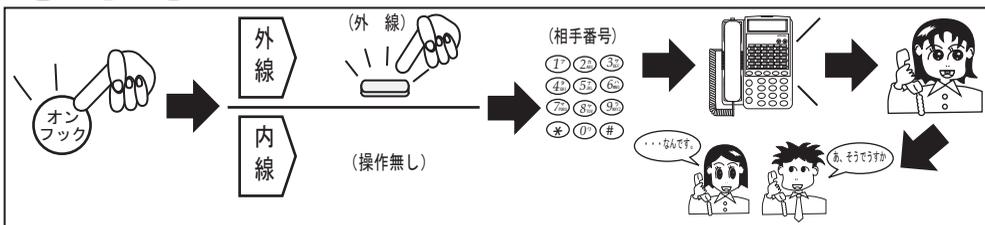
オフフックダイヤル



CX HX MX

受話器を置いたままかけるとき

オンフックダイヤル



CX HX

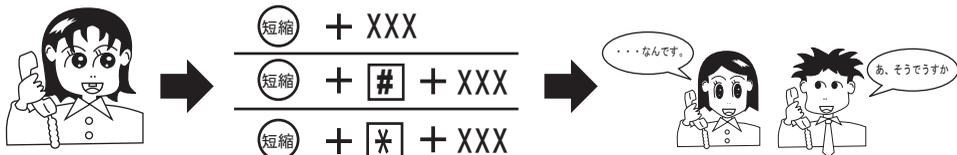
短縮ダイヤルでかけるとき

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルを使用するにはシステム設定が必要です。工事者、特約店にご相談ください。（初期状態では使用できません。）

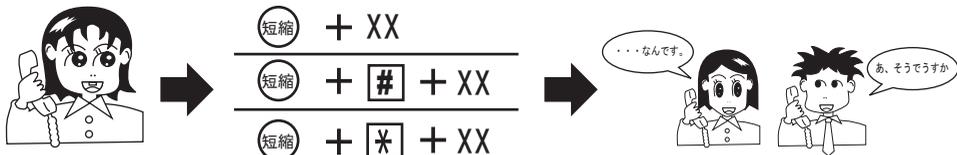
【システム短縮ダイヤル】

- 相手先の登録は、取りまとめの部署が行います。
- 発信操作は次のいずれかに設定されています。短縮番号は (X) は最大で3桁です。（最大桁は設定で変わります。）



【可変短縮ダイヤル】

- グループ用と個人用があり、どちらかに設定されています。
- 発信操作は次のいずれかに設定されています。短縮番号 (X) は最大で2桁です。



• あらかじめ相手先を登録してください(P.7)。なお、登録時の短縮番号とは下線の部分を指します。

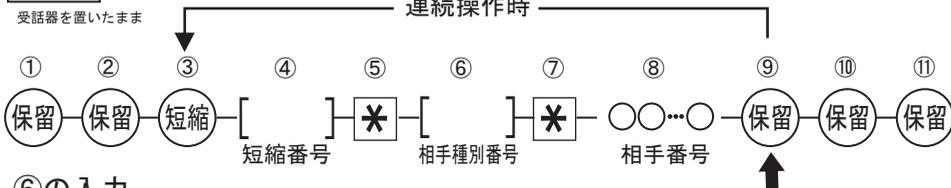
短縮 + XX

短縮 + # + XX

短縮 + * + XX

- ・短縮ダイヤルを使用するにはシステム設定が必要です。工事者、特約店にご相談ください。(初期状態では使用できません。)
- ・グループ用の場合は、可変短縮グループ内に設定されている特定電話機から、個人用の場合は、自席の電話機から操作します。
(↑表示のボタンを押して内容が表示されます。)

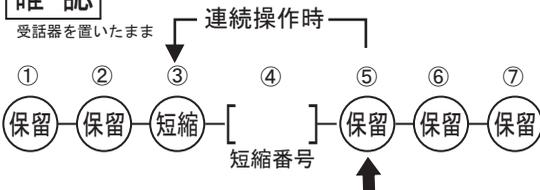
登録



⑥の入力

0	相手番号の前に特番を付加するとき(LCR発信など)
1	相手が外線するとき
2	親交換機を経由しないとかけられない相手のとき
3	通話中の状態からPB信号をだすとき(音声メールなどへのアクセス)

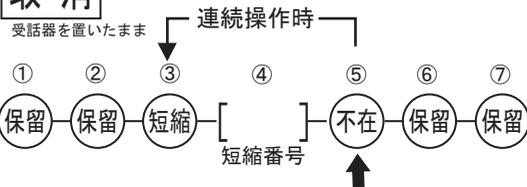
確認



※登録内容が長くて一度に表示できないときは、“E”が“-”になります。
このとき転送ボタンを押すと残りの内容が表示されます。

データ	登録	/	表示
00-1-033762411			E
15日(日)	12:00		20000

取消



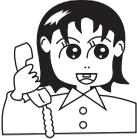
- ・登録、確認、取消しでの④は「XX」、「# + XX」、または、「* + XX」のいずれかで入力します。
- ・途中で操作を間違えたときや、エラー表示(P.32)になったときは、③からやり直してください。

MX**短縮ダイヤルでかけるとき****短縮ダイヤル**

短縮ダイヤルには、システム短縮と個人短縮があります。

【システム短縮ダイヤル】

- ・相手先の登録は、取りまとめの部署が行います。
- ・発信操作は次のいずれかに設定されています。短縮番号 (X) は2桁または3桁です。



短縮

+ XX (00~79:80箇所)

短縮

+ XX (00~99:100箇所)

短縮

+ XXX (000~999:1000箇所)

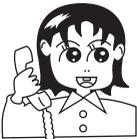
...なんです。



あ、そうですか

【個人短縮ダイヤル】

- ・発信操作は次のどちらかに設定されています。短縮番号 (X) は2桁です。



短縮

+ XX (80~99:20箇所)

短縮

+ * + XX (80~99:20箇所)

...なんです。



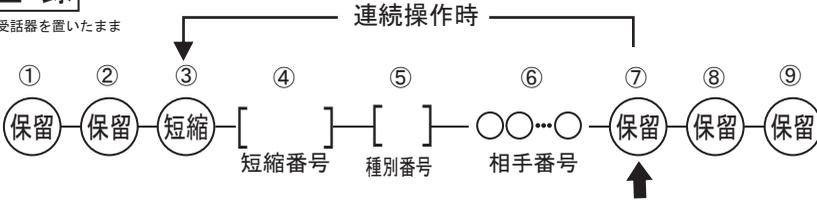
あ、そうですか

- ・あらかじめ相手先を登録してください(P. 9)。

各内線電話機から操作します。(↑表示のボタンを押して内容が表示されます。)

登録

受話器を置いたまま



④の入力

パターン	短縮番号
0	80～99(20ヶ所)
1	*80～*99(20ヶ所)

⑤の入力

種別番号	短縮番号
1	特番を付加するとき(外線発信特番など)
2	直接外線発信できるとき
3	親交換機を経由してかけるとき

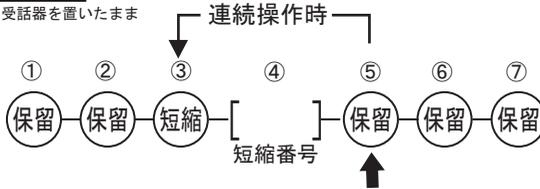
⑥の入力

⑤が種別1のときは特番から入力してください。

(パターンはとりまとめの部署に確認してください。)

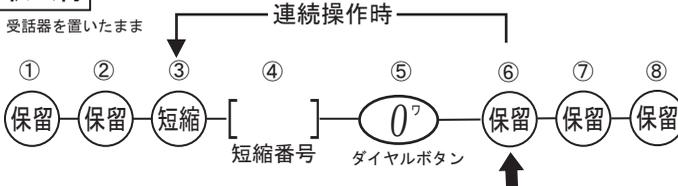
確認

受話器を置いたまま



取消

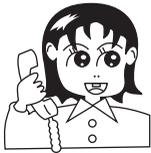
受話器を置いたまま



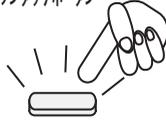
CX HX MX**ワンタッチダイヤルでかけるとき****ワンタッチダイヤル**

(フリーファンクションボタンのワンタッチダイヤル、HI-32C-TELSDのワンタッチダイヤル)

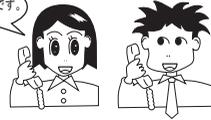
あらかじめ相手先を登録してください。



ワンタッチダイヤル



・・・なんです。



あ、そうですか

HI-32C-TELSDのワンタッチダイヤルはフリーファンクションボタンのワンタッチダイヤルと機能が異なり、呼び出し中に押すとリセットコールに、通話中に押すと電話中ダイヤルになります。

(HI-32C-TELSDのワンタッチダイヤルの登録はP. 25を参照してください。)

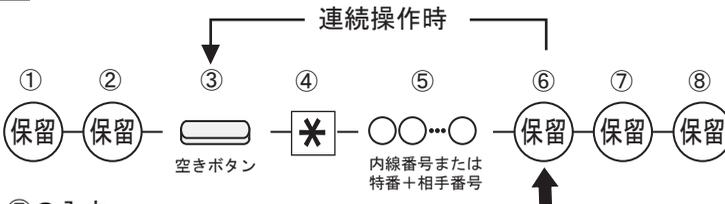
CX HX MX**ワンタッチダイヤルの登録** (フリーファンクションボタンのとき)

ワンタッチダイヤルボタンは、空いているフリーファンクションボタンを使います。

(↑ 表示のボタンを押して内容が表示されます。)

登録

受話器を置いたまま

1 任意のダイヤル番号を登録するとき

⑤の入力

CX HX は最大24桁、**MX** は最大6桁です。特番なども入力できます。**2** 短縮番号の内容を登録するとき

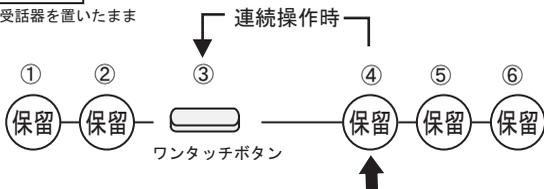
⑤の入力

「XX」、「# + XX」、または、「* + XX」です。なお短縮ボタンを使って発信できる相手先に限ります。

CX HX MX ワンタッチダイヤルの登録 (つづき)

確認

受話器を置いたまま



・外線のとき

(MX の R はあとの「-」表示はされません。)

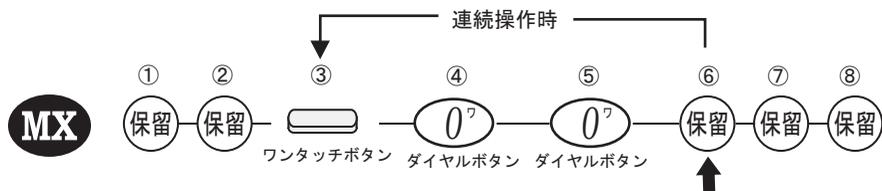
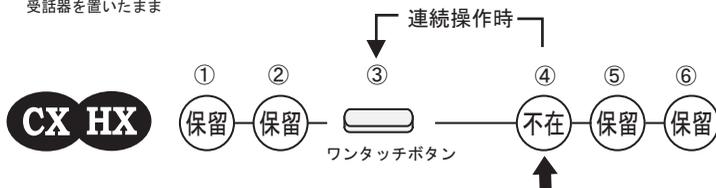
データ	登録	/	表示
00-R-01	E		
15日(日)	12:00		20000

・内線のとき

データ	登録	/	表示
00-1234	E		
15日(日)	12:00		20000

取消

受話器を置いたまま



・途中で操作を間違えたときや、エラー表示(P.32)になったときは、③からやり直してください。

CX HX MX 音量と表示器のコントラスト調節をするとき 音量/コントラスト調整

▽△ ボタンで音量を調節することができます。

▽ ボタンで音量を小さく、△ ボタンで音量が大きくなります。

調節項目	調節できる状態	調節段階
着信音量	待機状態	6段階(0, 4, 8, 12, 16, 20dB) 初期値12dB
受話音量	受話器での通話中	3段階(0, 2, 4dB) 初期値0dB
スピーカ音量	スピーカ受話中・ハンズフリー通話中	6段階(0, 4, 8, 12, 16, 20dB) 初期値12dB
表示器のコントラスト	待機状態で#を押し設定モードから変更	29段階(初期値: 17段階目)

CX HX MX

通話中の相手を保留するとき

一般保留

この方法で保留した通話は、どの電話機からでも解除できます。
共通保留ボタンの設定は販売店が行います。

【保留】



外線を保留のとき

電話機	自分	他の人
外線または 共通保留ランプ	緑の遅い点滅	赤の遅い点滅

・外線または共通保留ランプが、自分は緑、他の人は赤の遅い点滅。

内線を保留のとき

・共通保留ランプが、自分は緑、他の人は赤の遅い点滅。



【保留の解除】



外線を保留のとき

・保留されている外線または共通保留ボタンを押す。

内線を保留のとき

・共通保留ボタンを押す。



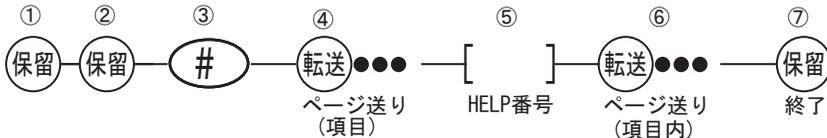
CX HX

MX

HELP機能

HELP

電話機のLCDにHELPを表示することが出来ます。
HELP番号と画面表示はCX、HXとMXで内容が異なります。
HELP画面上で直接修正編集はできません。修正するにはPBXに添付のC-TEL詳細取扱説明書「第5章 特定電話機」を参照ください。



CX HX

- 00: 機種情報表示
- 01: 日付修正
- 02: 時刻修正

項目は3行表示

MX

- 00: 機種情報表示
- 01: 日付修正
- 31日(金) 15:30 125

項目は2行表示

メニュー表示でCX、HXは3行表示する事が出来ませんが、MXは2行表示と時計表示になります。(右図参照)

CX、HX、MXでメニュー選択時、転送でページ送りをしますが、MXは再ダイヤルボタンを押すと一つ前のページに戻る事が出来ます。

電話機にメモリダイヤルを読み込む

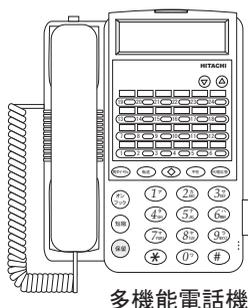
携帯/PHSのメモリダイヤルを電話機に読み込みます。
読み込む際、対話式になっていますので選択した番号だけ
読み込むことができます。

接続図



警告

- 注1. ケーブルを接続する際、故障の原因となりますので
携帯電話／PHS側を接続してから多機能電話機側
を接続してください。
- 注2. 携帯電話／PHS側のコネクタ接続位置は機種によ
り異なりますので携帯電話／PHSの取扱説明書
をご確認ください。
- 注3. 携帯/PHSの充電中は故障の原因となりますので接続
を行わないでください。



多機能電話機

HI-C-CBL[]



携帯電話／PHS

HI-C-CBLA : 携帯電話機 (NTTDocomo) 接続ケーブル
HI-C-CBLB : PHS (NTTDocomo) 接続ケーブル



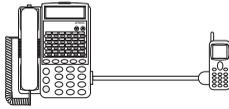
こんなことも出来るんです！

- ・メモリダイヤルは一人につき2番号まで登録することができます。
- ・読み込んだメモリダイヤルは漢字で表示する事が出来ます。
- ・読み込んだメモリダイヤルは後で編集、消去が自由に行えます。
- ・読み出した電話番号に予め設定 (P. 28) した特番を付加することができます。

注意

読み込んだ漢字が特殊な漢字の場合は電話機に表示できなかったり別の文字が表示されることがあります。

1



- ①コネクタを携帯/PHS側に接続します。
- ②コネクタを多機能電話機側に接続します。

注1. コネクタ接続の順番は必ず守ってください。故障の原因となります。
 注2. 携帯/PHSを充電しながら電話帳読み込みは行わないでください。故障の原因となります。
 注3. 読み込みモードにする際、電話機を不在にしてください。読み込み中に着信が入ると読み込みモードから抜けてしまいます。(着信優先の為)

2

内線番号	125
05月31日(金)	15:30



ボタンを押す。
 ・メニュー選択画面にします。

3

1 電話帳	4 リンタッチ
2 発信履歴	5 アラーム
3 着信履歴	6 設定



1 ボタンを押す。
 ・電話帳にします。

4

電話帳	3 作成
1 読検索	4 読込
2 グループ検索	



4 ボタンを押す。
 ・読込にします。

5

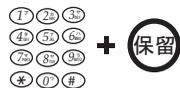
読込	
1) 携帯	
2) PHS	



1 か **2** ボタンを押す。
 ・接続されているのが携帯電話かPHSかを選択します。

6

読込	登録数150
メモリNO. ?	
001	



携帯/PHSのメモリアル NO. を入力します。(例001)
保留 ボタンで決定します。



修正時の消去は **短縮** ボタンを押す。

メモリアル NO. は通常000~999までとなっております。

7

日立太郎	ビ好ハ
00249441221	
メモリNO. 001	

・携帯/PHSのメモリアルが表示されます。



▽ **△** ボタンを押すと前後の登録されているメモリアルの名前を見ることが出来ます。

日立花子	ビ好ハ
00112416985	
メモリNO. 002	

+



登録したい番号で **保留** を押してください。

日立仁	ビ好ハ
00249441359	
メモリNO. 003	

※メニューモードの時、15秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

電話帳で電話番号を検索し電話をかける (読み仮名検索)

電話帳に登録されている番号を検索して発信します。
検索の際、読み仮名を入力してください。

1

内線番号 125
05月31日(金) 15:30



ボタンを押す。

・メニュー選択画面にします。

2

1 電話帳 4 ワンタッチ
2 発信履歴 5 アラーム
3 着信履歴 6 設定



1 ボタンを押す。

・電話帳 にします。

3

電話帳 3 作成
1 読 検索 4 読 込
2 グループ 検索



1 ボタンを押す。

・読み仮名入力待ちになります。

4

検索 登録数150
-



読み仮名を入力します。
(例日立太郎を検索する。)

入力有効文字数は4文字です。

5

検索 登録数150
ヒ_



保留 ボタンを押す。

・ひ行の最初の登録者が表示されます。



修正時の消去は **短縮** ボタンを押す。

6

日立花子
1) 0249441221
2) 09022223344



▽△ ボタンを押すと前後の登録されている名前を見ることが出来ます。

7

日立太郎
1) 0249221299
2) 09033613663



1 が 2 ボタンを押す。

・どちらの番号に電話を掛けるか選択します。

(例は1)の番号を選択した時の表示です。)

8

日立太郎
1) 0249221299



オンフック ボタンを押す。

・選択した番号に発信します。

※メニューモードの時、15秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

電話帳で電話番号を検索し電話をかける (グループ検索)

電話帳に登録されている番号を検索して発信します。
検索の際、グループを選択してください。

1

内線番号 125
05月31日(金) 15:30



ボタンを押す。

・メニュー選択画面にします。

2

1 電話帳 4ワンタッチ
2 発信履歴 5アラーム
3 着信履歴 6設定



1 ボタンを押す。

・電話帳にします。

3

電話帳 3作成
1読検索 4読込
2グループ検索



2 ボタンを押す。

・グループ番号入力待ちになります。

4

グループ番号1-6
グループ番号: 1



1~**6** いずれかのボタンを押す。

・グループ番号を入力し **保留** ボタンを押します。

ここでは、グループ1の2番目に登録されている日立花子を検索した時の例を示します。
グループ検索した際、グループ内であいうえお順に登録されている名前から表示されます。

5

日立太郎
1)0249221299
2)09033613663



▽**△** ボタンを押すと前後の登録されている名前を見ることが出来ます。

6

日立花子
1)0249441221
2)09052311998



1 か **2** ボタンを押す。

・どちらの番号に電話を掛けるか
選択します。
(例は1の番号を選択した時の表示です。)

7

日立花子
1)0249441221



オンフック ボタンを押す。

・選択した番号に発信します。

※メニューモードの時、15秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

電話帳から電話番号を消去する

電話帳に登録されている番号を消去します。

1

内線番号 125
05月31日(金) 15:30



ボタンを押す。

・メニュー選択画面にします。

2

1 電話帳 4 ワンタッチ
2 発信履歴 5 アラーム
3 着信履歴 6 設定



1 ボタンを押す。

・電話帳にします。

3

電話帳 3 作成
1 読 検 索 4 読 込
2 グループ 検 索



1 が 2 ボタンを押し検索を行い(P. 16, 17参照)、消去したい名前を表示します。

4

日 立 太 郎
1) 0249221299
2) 09033613663



消去したい電話番号で

保留 ボタンを押す。

・モード選択になります。

5

日 立 太 郎
1 編集 3 戻る
2 消去



2 ボタンを押す。

・消去モードに移行します。

6

日 立 太 郎
4 消去する
6 戻る



4 が 6 ボタンを押します。

・消去するか、戻るを選択します。

消 去 し ま し た



保留 ボタンを押す。

・「消去しました」の画面から項番4の状態へ戻り次の名前を表示します。

・戻るを選択すると項番5へ戻ります。



ボタンを押すと待機状態へ移行します。

※メニューモードの時、15秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

電話帳に電話番号と名前を登録する (新規登録)

電話帳に電話番号と名前を新規に登録することが出来ます。
電話番号は一人につき2番号まで登録することが出来ます。

(新規に名前を登録する場合、名前はカタカナでのみ入力可能です。漢字入力は出来ません。)

1

内線番号 125
05月31日(金) 15:30



ボタンを押す。

・メニュー選択画面にします。

2

1 電話帳 4 ワンタッチ
2 発信履歴 5 アラーム
3 着信履歴 6 設定



1 ボタンを押す。

・電話帳にします。

3

電話帳
1 読検索 3 作成
2 グループ検索 4 読込



3 ボタンを押す。

・電話帳作成モードにします。

4

登録数000
アイウエカセイ-



ボタンで名前を入力し **保留** ボタンで入力を確定します。

カーソルは短縮：バックスペース、#、スペースと文字確定小文字に変換する場合はワカウカを押します。



修正時の消去は **短縮** ボタンを押す。

5

アイウエカセイ
アイウエ



・読みが4文字表示されます。修正がある場合は一度消去して、入力しなおしてください。変更がない場合は、保留で確定してください。

アイウエカセイ
1) 00249441221



・一つ目の番号を入力します。
ボタンで番号を入力し **保留** ボタンで入力を確定します。

6

アイウエカセイ
2) 00249441254



・二つ目の番号を入力します。
ボタンで番号を入力し **保留** ボタンで入力を確定します。

7

アイウエカセイ
グループ番号1-6
グループ番号：1



・グループ番号を入力します。
1 ~ **6** ボタンでグループを入力し **保留** ボタンで入力を確定します。

(グループ番号1を選択した場合)

8

アイウエカセイ
1) 00249441221
2) 00249441254



保留 ボタンを押すと次の登録を開始します。
(項番4の状態へ)



ボタンを押すと待機状態へ移行します。

※メニューモードの時、1.5秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

電話帳の電話番号と読みを編集する

(既存の電話番号と読みを編集する)

既に電話帳に登録されている電話番号と読みを編集する事が出来ます。また、二つ目の番号を追加する事が出来ます。

1

内線番号 125
05月31日(金) 15:30



ボタンを押す。

・メニュー選択画面にします。

2

1 電話帳 4ワンタッチ
2 発信履歴 5アラーム
3 着信履歴 6設定



1 ボタンを押す。

・電話帳にします。

3

電話帳 3作成
1読検索 4読込
2グループ検索



1 か **2** ボタンを押し検索を行い(P. 16, 17参照)、編集したい名前を表示します。

4

日立太郎
1)0249441299
2)09033613683



編集したい電話番号で

保留 ボタンを押す。

・モード選択になります。

5

日立太郎
1編集 3戻る
2消去



1 ボタンを押す。

・編集にします。

6

日立太郎
ヒタチ。



・読みが4文字表示されます。修正がある場合は一度消去して、入力しなおしてください。変更がない場合は、保留で確定してください。

(カーソルは短縮: パカメース、#: スペースと文字確定)

7

日立太郎
1)0249441299



・一つ目の番号を編集します。

保留 ボタンで番号を入力し **保留** ボタンで入力を確定します。

8

日立太郎
2)09033613683



・二つ目の番号を編集します。

保留 ボタンで番号を入力し **保留** ボタンで入力を確定します。

9

日立太郎
グループ番号1-6
グループ番号: 1



・グループ番号を編集します。

1 ~ **6** ボタンでグループを入力し **保留** ボタンで入力を確定します。

(グループ番号1を選択した場合)

10

日立太郎
1)0249441299
2)09033613683



保留 ボタンを押すと次の登録を開始します。(項番4の状態へ)



ボタンを押すと待機状態へ移行します。

※メニューモードの時、15秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

発信・着信履歴から電話をかける

発信履歴・着信履歴から電話を掛けることができます。
履歴は発信・着信それぞれ30件記憶します。

1

内線番号 125
05月31日(金) 15:30



ボタンを押す。

・メニュー選択画面にします。

2

1 電話帳 4 ワンタッチ
2 発信履歴 5 アラーム
3 着信履歴 6 設定



か 3 ボタンを押す。

・2: 発信履歴が表示されます。

・3: 着信履歴が表示されます。

3

発信 05月31日(金) 15:30
09033613663



ボタンを押すと前後の履歴を見ることが出来ます。

発信履歴 1



着信履歴 1



発信履歴 2



着信履歴 2



発信履歴 29



着信履歴 29



発信履歴 30



着信履歴 30



・項番 2 で発信履歴を選択した場合、発信履歴、着信履歴を選択した場合、着信履歴が30件表示されます。
・履歴は一番新しい履歴が最初に表示されます。

(図は発信履歴を選択した時を表示しています。着信履歴の時は左上の「発信」の文字が「着信」に変わります。)

4

発信 05月31日(金) 15:30
09033613663



ボタンを押す。

・選択した番号に発信します。

局線
09033613663
31日(金) 15:30 125

注: CX、HXではオフック後のダイヤル操作内容を履歴情報として記憶します。
したがってキー押し発信、特番プリセレ発信等での発信履歴からは掛けなおし出来ません。

※メニューモードの時、15秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

発信・着信履歴を消去する

発信履歴・着信履歴を消去することができます。

1

内線番号 125
05月31日(金) 15:30



ボタンを押す。

・メニュー選択画面にします。

2

1 電話帳 4 ワンタッチ
2 発信履歴 5 アラーム
3 着信履歴 6 設定



2 か **3** ボタンを押す。

・1: 発信履歴が表示されます。

・2: 着信履歴が表示されます。

3

発信 05月31日(金) 15:30
09055523112



保留 ボタンを押す。

・メニュー画面に移行します。

(図は発信履歴を選択した時を表示しています。着信履歴の時は左上の「発信」の文字が「着信」に変わります。)

4

1 電話帳へ 3 全消去
2 一件消去 4 戻る



2 か **3** ボタンを押す。

・消去モードに移行します。

・履歴に名前が登録されている場合は「○○」に名前が表示されます。

5

一件消去
4 消去する
6 戻る



4 か **6** ボタンを押す。

・選択した履歴を4消去、6戻るを選択します。

・6戻るを選択した場合、項目4の画面に戻ります。

全消去
4 消去する
6 戻る

(全消去を選んだ場合)

消去しました

(消去を選んだ場合)



保留 ボタンを押す。

「消去しました」の画面からメニュー画面に戻ります。

(項番2の状態へ)



ボタンを押すと待機状態へ移行します。

※メニューモードの時、15秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

発信・着信履歴から電話帳に登録する

履歴に名前を付けて電話帳に登録することができます。

1

内線番号 125
05月31日(金) 15:30



ボタンを押す。

・メニュー選択画面にします。

2

1 電話帳 4 ワンタッチ
2 発信履歴 5 アラーム
3 着信履歴 6 設定



2 か **3** ボタンを押す。

・2: 発信履歴が表示されます。

・3: 着信履歴が表示されます。

3

発信 05月31日(金) 15:30
09055523112



▽ **△** ボタンを押すと前後の履歴を見ることが出来ます。

- ・履歴は発信・着信ともに各最高で30件まで見ることが出来ます。
- ・履歴は一番新しい履歴が最初に表示されます。

発信履歴 1



発信履歴 2



発信履歴 2 9



発信履歴 3 0

着信履歴 1



着信履歴 2



着信履歴 2 9



着信履歴 3 0

(図は発信履歴を選択した時を表示しています。着信履歴の時は左上の**発信**の文字が**着信**に変わります。)

4

発信 05月31日(金) 15:30
09055523112



登録したい番号で
保留 ボタンを押す。

・メニュー画面に移行します。

(図は発信履歴を選択した時を表示しています。着信履歴の時は左上の**発信**の文字が**着信**に変わります。)

5

1 電話帳へ 3 全消去
2 一件消去 4 戻る

1 ボタンを押す。

- ・登録モードに移行します。
- ・履歴に名前が登録されている場合は「**〇〇〇**」に名前が表示されます。

6

登録数000
アイウエカセイ



・名前を入力します。

保留 ボタンで名前を入力し **保留** ボタンで入力を確定します。

(カーソルは短縮：バックスペース、#:スペースと文字確定)



修正時の消去は **短縮** ボタンを押す。

7

アイウエカセイ

アイウエ



- ・読みが4文字表示されます。修正がある場合は一度消去して、入力しないおしてください。変更がない場合は、保留で確定してください。

8

アイウエカセイ

1) 00249441221



- ・番号が表示されます。
- ・修正がある場合は修正することが出来ます。

修正しない場合はそのまま **保留** ボタンで入力を確定します。

9

アイウエカセイ

2)



- ・二つ目の番号を入力することが出来ます。登録しない時はそのまま **保留** ボタンで入力を確定します。

10

アイウエカセイ

グループ番号1-6

グループ番号：1

(グループ番号1を選択した場合)



- ・グループ番号を入力します。

1 ~ **6** ボタンでグループを入力し **保留** ボタンで入力を確定します。

11

アイウエカセイ

1) 00249441221

2) 00249441254



保留 ボタンを押すと次の登録を開始します。(項番3の状態へ)



ボタンを押すと待機状態へ移行します。

※メニューモードの時、15秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

ワンタッチダイヤルを登録する

相手先の電話番号をワンタッチダイヤルに登録できます。
1 ボタンに登録できる桁数は最大32桁です。(0~9, #, ※)
(この機能はHI-32C-TELSDのみ 使用できる機能です。)

1

内線番号 125
05月31日(金) 15:30



ボタンを押す。

2

1 電話帳 4ワンタッチ
2 発信履歴 5アラーム
3 着信履歴 6設定



4 ボタンを押す。

・ワンタッチにします。

3

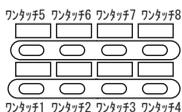
ワンタッチ 1



▽ **△** ボタンを押すと前後のワンタッチ番号を選ぶ事が出来ます。



ワンタッチ 2
0012345678



・8の次に▽を押しても1に、また1の時に△を押しても8にはなりません。
・既に登録されている時は番号が表示されているので、番号を修正する時は保留ボタンで選択して番号を消去してから再入力してください。



ワンタッチ 8
00365896549



保留 ボタンを押す。

・登録したいワンタッチ番号の所で保留を押します。
(画面に登録中と表示されます。)

・内線番号または外線発信特番+相手番号ダイヤルを押します。
(特番は販売店に確認してください。ここでは例として0を押しています。)



ワンタッチ 3 登録中
00249221299

(ワンタッチ3に登録した場合)



修正時の消去は **短縮** ボタンを押す。

4

ワンタッチ3
00249221299



保留 ボタンを押す。

・登録を完了します。

(ワンタッチ3に登録した時)



ボタンを押すと待機状態へ移行します。

※メニューモードの時、15秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

電話機のアラームを設定する

電話機のアラームを設定して時間になったらお知らせブザーを鳴らすことができます。

1

内線番号	125
05月31日(金)	15:30



ボタンを押す。

・メニュー選択画面にします。

2

1 電話帳	4 ワンタッチ
2 発信履歴	5 アラーム
3 着信履歴	6 設定



5 ボタンを押す。

・アラーム設定にします。

3

アラーム設定	
現在時刻	15:30
設定時刻	:



アラームを鳴らしたい時間を入力します。

4

アラーム設定	
現在時刻	15:30
設定時刻	17:00

(17:00にアラーム設定時)



保留 ボタンを押す。

- ・設定を確定させます。
- ・アラームが設定されると、オンライン時に時計表示の **:** が ***** に変わっています。
- ・設定を解除する場合はアラーム設定時に ***** ボタンを押すか短縮で消去してください。

内線番号	4973
05月31日(金)	15*30

アラーム設定状態
(画面はオンライン状態)



修正時の消去は **短縮** ボタンを押す。

※メニューモードの時、15秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

電話機の設定

電話機の設定を行います。設置されている電話機ごとに各種設定をする事が出来ます。

1

内線番号	125
05月31日(金)	15:30



ボタンを押す。

・メニュー選択画面にします。

2

1 電話帳	4 ワンタッチ
2 発信履歴	5 アラーム
3 着信履歴	6 設定



6 ボタンを押す。

・設定のモード選択になります。

3

*:次へ #:終了	
1 特番	3 LCDコントラスト
2 着信種別	4 着信音量
設定の1ページ目	



・設定する項目を選択して設定画面に移行します。
ページを変更する場合は* ボタンを押してください。

*:次へ #:終了	
1 最小着音	3 受話音量
2 キートン	4 送話レベル
設定の2ページ目	



* ボタンを押すと下記のようにローテーションします。

*:次へ #:終了	
1 送話ノイズ	3 スピーカ音量
2 側音	
設定の3ページ目	



ボタンを押すと待機状態へ移行します。

(ただし、設定に入った時は待機状態へ移行しません。)

設定の1ページ目

1 特番	特番付加情報
2 着信種別	着信種別
3 LCDコントラスト	LCDコントラスト
4 着信音量	着信音量ボリューム初期値

設定の3ページ目

1 送話ノイズ	ハンドセット送話ノイズキャンセル
2 側音	ハンドセット側音
3 スピーカ音量	スピーカ受話音量初期値

設定の2ページ目

1 最小着音	最小着信音量
2 キートン	キートン
3 受話音量	ハンドセット受話音量初期値
4 送話レベル	ハンドセット送話レベル

※メニューモードの時、15秒以上キーに触れないと自動的に待機状態へ戻ります。

設定の1ページ目

1. 特番を設定します。

・携帯・PHSから読込んだデータに特番を付加するか設定を行います。

*:次へ #:終了
1特番 3LCDコントラスト
2着信種別 4着信音量

1ア

1 ボタンを押す。

・特番付加にします。

読込みデータに
0184 を付加

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
* ⑩ #

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
ボタンを押して特番を付加
します。(例は0184)

保留 ボタンを押して設定を
確定します。

修正は短縮ボタンで消してください。

2. 着信音を設定します。

2カ
ABC

2 ボタンを押す。

・着信種別にします。

*:次へ #:終了
1特番 3LCDコントラスト
2着信種別 4着信音量

短縮

短縮 ボタンで数字を消去する。

着信種別 01 *:次へ
着メロを選択します
着メロ 00

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
* ⑩ #

着信メロディーを選択します。
着信メロディーは14種類から選択して
ください。

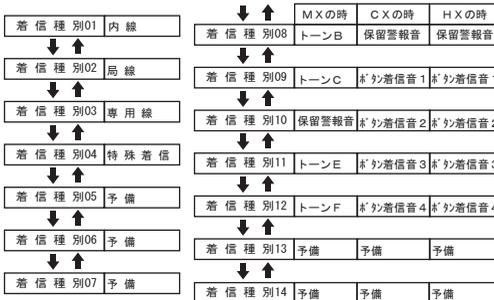
初期値は00です。(着メロ無し)

着信種別 02 *:次へ
着メロを選択します
着メロ 03

保留

着メロを全て設定したら
保留 ボタンを押してください。

着信種別2を着信メロイ03に設定した時



着メロ

着信メロディーを選択します。

00: 初期値(着メロ無し)	08: 効果音B2
01: キャッスル	09: 効果音K1
02: ファンファーレ	10: 効果音K2
03: セレナーデ	11: 効果音U
04: ユモレスク	12: 効果音H
05: メロディア	13: 効果音S
06: メロディB	14: 効果音I
07: 効果音B1	



着信メロディー設定について

・着信メロディーは種別ごとに変更する事が出来ます。

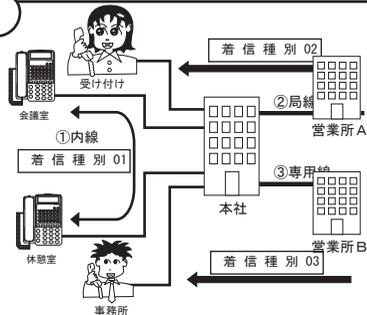
たとえば、①内線着信をキャッスル、②局線着信をファンファーレ、③専用線着信をセレナーデとして鳴り分けさせる事が出来ます。

(例)

- ・(会議室) から(受け付け)が着信した時: 内線着信なのでキャッスル
- ・(営業所A) から(事務所)が着信した時: 局線着信なのでファンファーレ
- ・(営業所B) から(会議室)が着信した時: 専用線着信なのでセレナーデ
- ・(受け付け)から(事務所)が着信した時: 内線着信なのでキャッスル
- ・(営業所A)から(受け付け)が着信して、(会議室)に転送した場合の着メロは局線着信の転送なのでファンファーレが鳴ります。

着メロの種別5~14を使用し自由に設定する事が出来ます。
(変更の際は工事者、特約店にご相談ください。)

その他、細かい設定も出来ますので「取扱説明書」をご覧ください。



3.LCDコントラストを調整します。

*:次へ #:終了	
1特番	3LCDコントラスト
2着信種別	4着信音量

3サ
DEF

3 ボタンを押す。

・LCDコントラストにします。

1淡く	2濃く
LCDコントラスト	

1ア + 保留
2カ
ABC

コントラストを調節し **保留** で決定してください。

4.着信音量の初期値を調整します。

*:次へ #:終了	
1特番	3LCDコントラスト
2着信種別	4着信音量

4タ
GHI

4 ボタンを押す。

・着信音量にします。

1小さく	2大きく
着信音量	

1ア + 保留
2カ
ABC

着信音量を調節し **保留** で決定してください。

・電話機の移動を行った場合、この音量になります。

設定の2ページ目

1.最小着信音量を設定します。

*:次へ #:終了	
1最小着音	3受話音量
2キートン	4送話レベル

1ア

1 ボタンを押す。

・最小着信音を設定します。
・消音は設定後、待機状態で音が消えるまで **▼** ボタンを押してください。

1最小	2消音
最小着信音量	:最小

1ア + 保留
2カ
ABC

着信音量を調節し **保留** で決定してください。

・電話機の移動を行った場合、初期値に戻ります。

2.キートンを設定します。

*:次へ #:終了	
1最小着音	3受話音量
2キートン	4送話レベル

2カ
ABC

2 ボタンを押す。

・キートンにします。

1送出	2消音
キートン	:送出

1ア + 保留
2カ
ABC

キートンを調節し **保留** で決定してください。

3.ハンドセット受話音量の初期値を設定します。

*:次へ #:終了	
1最小着音	3受話音量
2キートン	4送話レベル

3サ
DEF

3 ボタンを押す。

・受話音量にします。

1小さく	2大きく
受話音量	:標準

1ア + 保留
2カ
ABC

受話音量を調節し **保留** で決定してください。

・電話機の移動を行った場合、この音量になります。

4. ハンドセット送話レベルを設定します。

*:次へ #:終了	
1 最小着音	3 受話音量
2 キートン	4 送話レベル

4^タ
GHI

4 ボタンを押す。

・送話レベルにします。

1 小さく	2 大きく
送話レベル	: 標準

1^ア

+ 保留

2^カ
ABC

ハンドセット送話レベルを調節し
保留 で決定してください。

設定の3ページ目

1. ハンドセット送話ノイズキャンセルを設定します。

*:次へ #:終了	
1 送話ノイズ	3 スピーカ音量
2 側音	

1^ア

1 ボタンを押す。

・送話ノイズにします。

1 無	2 有
送話ノイズ抑圧	: 無

1^ア

+ 保留

2^カ
ABC

送話ノイズし 保留 で決定
してください。

・騒音の大きい場所で相手の声が聞きやすくなります。

2. ハンドセット側音を設定します。

*:次へ #:終了	
1 送話ノイズ	3 スピーカ音量
2 側音	

2^カ
ABC

2 ボタンを押す。

・側音にします。

1 小さく	2 大きく
側音	: 標準

1^ア

+ 保留

2^カ
ABC

側音を調節し 保留 で決定
してください。

・エコーが大きい場合に大きくすると相手の声が聞きやすくなります。

3. スピーカ受話音量の初期値を設定します。

*:次へ #:終了	
1 送話ノイズ	3 スピーカ音量
2 側音	

3^サ
DEF

3 ボタンを押す。

・スピーカ音量にします。

1 小さく	2 大きく
スピーカ音量	: 12dB

1^ア

+ 保留

2^カ
ABC

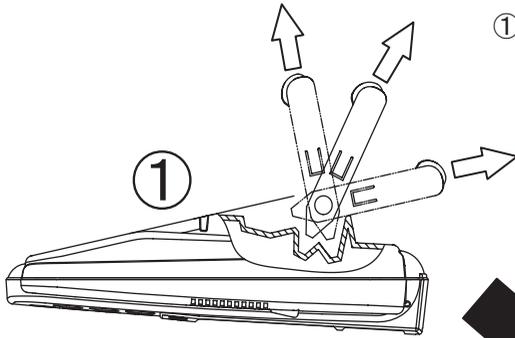
受話音量を調節し 保留
で決定してください。

・電話機の移動を行った場合、この音量になります。

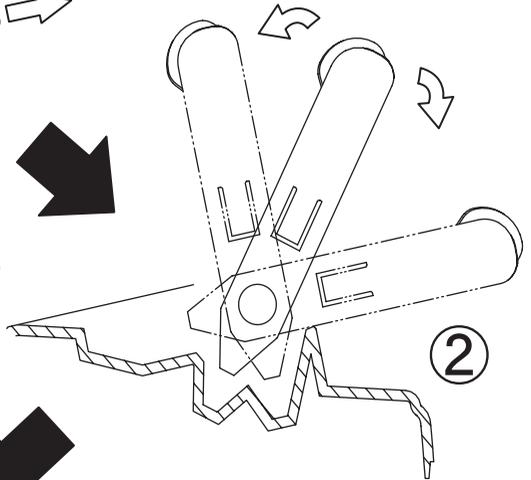
電話機の高さ調節をする

電話機の高さを3段階（高、中、低）に調節することができます。

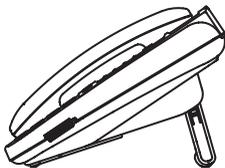
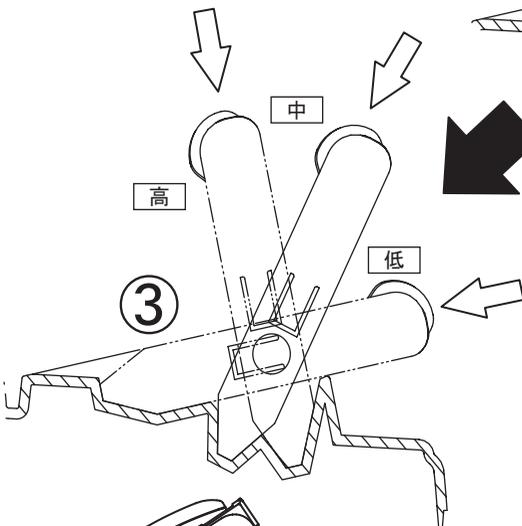
- ① 電話機を裏返して、角度アダプタを矢印の方向にカチッと音がするまで引き出してください。



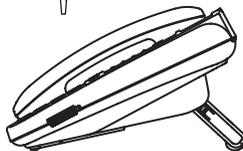
- ② 角度アダプタを設定したい角度に矢印のように回転させてください。



- ③ 角度アダプタを止まるまで押し込み固定します。



高



中



低

エラー表示になったとき

登録中の操作に間違いがあると、オンフックランプが早い点滅になり、表示器にエラーメッセージが表示されます。

表示	CX	HX	MX	意味
ERR-01	○	○	○	これ以上は入力できません。
ERR-02	○	○	○	指定した番号の桁数が足りません。
ERR-03	○	○	○	指定した番号の桁数が多すぎます。
ERR-04	○	○	○	種別番号が間違っています。
ERR-05	○	○	○	入力した番号は使われていません。
ERR-06			○	指定した短縮番号は使用できません。
ERR-08	○	○	○	この電話機からは、登録・取消しは出来ません。
ERR-09	○	○	○	このボタンには登録できません。
ERR-10	○	○	○	このボタンには既に登録されています。
ERR-11			○	指定した内線は話中です。
ERR-12			○	指定した内線にコピーできません。
ERR-13			○	「席替え」対象の内線番号を指定してください。
ERR-14			○	「席替え」する先頭の内線番号まで指定してください。
ERR-20			○	パスワードが間違っています。
ERR-21			○	内線番号が間違っています。
ERR-22			○	グループ番号が間違っています。
ERR-23			○	パスワードを入力してください。

主な仕様

環境条件	温度：0～40℃ 湿度：TEL PFIは除く 15～85%（結露なきこと） PFIだけ 25～85%（結露なきこと）
表示器	文字列：3行 1行あたりの文字数：半角で20 全角で10
	文字フォント：JIS第1水準、第2水準の漢字 6353文字 JIS非漢字 285文字
外形寸法	約180(W) X 96(H) X 233(D)mm
質量	約0.8kg

機能使用上の注意事項

1. 携帯/PHS通信関連

- ・携帯/PHSを接続して通信を行っている時は、オンラインモードに戻るまで携帯/PHS接続ケーブルを抜いたり端末の電源（回線コードを抜く）を切ったりしないでください。CTELが異常動作を起こしたり、登録されているメモリが消える可能性があります。あやまって携帯/PHS接続ケーブルを抜いたり電源（回線コードを抜く）を切ってしまう異常状態となった時は、一度CTELの電源（回線コードを抜く）を落とし再立ち上げしてください。
- ・読み仮名が全角で入っているものは読み込み時、表示されません。
(登録した場合、名前、電話番号のみが登録されますので、修正モードで読み仮名を追加してください。)
- ・携帯/PHS共に機種によっては文字化けしたり読み込みできない機種もあります。動作確認済み機種を下記に示します。

携帯電話

N501i	N502i	N502it	N503i	P503i	N503is	P503is	P208
P209	D210i	N210i	P211i	S0503i	S0504i	N504i	P504i

PHS

(*印の機種は仮名を全角で記憶しているため、読み仮名は読み込みません。)

*332S	*622S	*641S	*331S	*TC-332SE	*TC-642SE	*TC-631SE
-------	-------	-------	-------	-----------	-----------	-----------

(携帯/PHSにたいして、メモリ消去、書き換えのコマンドは送っていませんが万一データが消えることがあってもご了承ください。)
(携帯/PHSのメモリダイヤルを電話機に読み込む際、専用の接続ケーブル(別売品)が必要となります。(P.13参照のこと))

2. 電話帳関連

- ・読み仮名検索時、読みが入っていないものが一番最初にきます。その後、(、)、一、0、1、2、・・・9、大文字英語(A、B・・・Z)、小文字英語(a、b・・・z)、小文字カタカナ、大文字カタカナ、濁音の順に表示されます。
- ・文字入力時、オンフックを押すと大文字から小文字に変換することが出来ます。
- ・濁音(”、°)、括弧、ハイフン(ー)の入力は、ワ、ヲ、ンの後に表示されます。
- ・電話帳を修正する時、名前は修正できません。修正出来るのは、読みと電話番号だけです。

3. 着信メロディー関連

- ・着信メロディーはシステム設定により細かい設定が出来ます。鳴り分けを行う時は担当の工事者にご相談ください。
(トーンB、C、E、F、ボタン着信1～4はボタンに着信させる時に設定します。)

4. 全機能共通

- ・各データ設定時に電源（回線コードを抜く）を切らないでください。CTELが誤動作したり、登録されているメモリが消える可能性があります。また、誤って電源（回線コードを抜く）を切ってしまう動作がおかしいと思われる場合は一度回線コードを抜いて再立ち上げしてください。
- ・発着信履歴などのタイムスタンプはあくまでも目安です。実際の時間と異なる場合があります。

メモ
